



適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	タロマイセスフ ラバスを含む農 薬の総使用回数
稲	褐条病 ばか苗病 いもち病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病 苗立枯病(フザリウム菌) 苗立枯病(リゾープス菌) 苗立枯病(トリコデルマ菌)	200倍	催芽時	—	24時間種子浸漬	—
	ばか苗病 いもち病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病 苗立枯病(フザリウム菌) 苗立枯病(リゾープス菌) 苗立枯病(トリコデルマ菌)		催芽前		24~48時間種子浸漬	
	ばか苗病 いもち病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病	種子重量の 2~4%	浸種前		湿粉衣	
	苗立枯病(フザリウム菌) 苗立枯病(リゾープス菌) 苗立枯病(トリコデルマ菌)	種子重量の 4%				
	ばか苗病 いもち病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病	20倍	浸種前~ 催芽前		1時間種子浸漬	
	苗立枯病(フザリウム菌) 苗立枯病(リゾープス菌) 苗立枯病(トリコデルマ菌)		浸種前			
稲 (箱育苗)	苗立枯病(リゾープス菌)	200倍	は種時 覆土前		育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当たり希釈液200mlを 土壌灌注する。	





効果・薬害等の注意

- 本剤の有効成分は生菌であるので、薬液調製後はできるだけ速やかに使用する。また、開封後は密封して保管し、できるだけ早く使い切る。
- 種籾と処理薬液の容量比は1：1以上とし、種籾は目の粗い網袋などを用い、薬液処理時によくゆする。
- 本剤は他剤と混用すると十分に効果が発揮されない場合があるので注意する。
- 処理後の種籾乾燥の際は、直射日光や極端な高温をさける。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等の関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意



- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受ける。
- 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用する。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさける。
- 夏期高温時の使用をさける。

治 療 法…該当なし

魚毒性等…該当なし

保 管…密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。

